

令和4年度事業者防災訓練課題対応資料

京都大学複合原子力科学研究所

2023年3月2日

課題番号	問題点	本来どうすべきであったか	やるべきこと(課題)	再発課題	原因分析	対策
1	説明のための資料・図面が十分ではなく、ERC対応者の資料を用いた説明やが不十分であった。(再発事項)	緊急時対応に使用する設備や機器の詳細に関する資料も準備すべきであった。	緊急時対応に使用する設備や機器の詳細に関する資料を充実させる。	✓	資料の追加や改善を行ったが、ERCが必要とする情報を提供することを前提とした資料の作り込みができていなかった。	ERCが必要としている情報が何かを検討し、必要な情報を提供できるように追加する資料の選定を行う。また、資料の内容についてERC対応者への教育を行う。
2	事象の進展や対策をCOPとしてまとめ、ERCへ情報提供することができなかった。(再発事項)	事象の進展や対策に応じて作成したCOPを用いてERCへの情報提供をすべきであった。	COPシートの見直し： COPの作成手順を簡易化する。 体制の見直し： COP作成のための体制強化を行う。 教育・訓練による練度向上： COP作成手順に関する教育・訓練を行う。	✓	COPの作成を効率化するため、デジタルでの情報の入力により効率的な情報整理ができる環境整備を行ったが、COP作成のための人員を配備しておらず、本部員がCOPの作成まで手が回らずCOP作成ができていなかった。	汎用的なCOPだけでなく、進捗や対策に応じたCOPフォーマットを準備するなどしてCOPの作成を簡便化する。 COP作成を担当する本部員を配置するとともに、ERCサポート体制の強化も行う。 新たなCOP、体制でのCOP作成の教育・訓練を行う。
3	ERCサポート体制が十分でなく、緊急対策本部からの積極的な情報の収集や、ERCプラント班からの問い合わせへの迅速な対応ができなかった。	緊急対策本部からの情報の収集やERCプラント班への回答の準備など、ERCサポート担当者の役割を明確にし、ERC対応者が情報提供に集中できる体制を構築すべきであった。	ERCサポート担当者の役割を明確にし、ERC対応者がスムーズに情報提供できる体制を構築する。		ERC対応者とサポート担当者の役割分担が明確になっておらず、各担当者への教育も不十分であった。	ERC対応者とサポート担当者の役割を明確にするとともに、サポート担当者の増員などのERC対応における体制強化を行う。